





た遺層が、離かにそこへ築つた態とし、吹いて、音のにほひを持つ 節か、来た二人の女性の客をモ 春 (四)

誠との間を通って、墨の竹体をモ 生づ何より 先に 掻 りたい かりそめのお病ひが因となりまし の事でこれいます。その側からの 『五年の――典元四年の明月三 てと、それは同作り でおいては、調化去とかっ

のは、飾の法 然独舅の離消 息、| 『あく知らなんだ……』と、誤歌 は思はず野を出して

上が起る。

御様子はどうおざるか?……。お」け、定、何よ知らずにをつた。 『この身、砂所にあるとは中せ、

折々のおたよりもあらう、其後の

与もおはさのかり

製糖は割ねた。

医にまみれた異な流さ、死失の

れた事であらう

の法然御房もさだめしお力を落さ

月輪のお館へは、土佐の上人より

町と鈴野の二人は、

(何から先に云はら?)

腰縄を輝いて、彼の前に壁つた路。 でそればかりではこざいませれ

越路篇

村 耕 英 花品 治作

(as

きたさに、臓をかたくして整へて「この上にも、機能がの人々が、これも、都の消息を開「日を服に押し當てた。

でこの上にも、機能が高く事とは

次の間には、西佛や生信房など ものを喰からはぶりこぼして、

たのである。重野は、無へてあた

発てく生蔵等と申しあげ、お纏りの床とやらいふ所に、新に一等を

[t, dt.

もなく 御教化の 由に ござります

いなる 気づかひなく云ふがよい

- 一語版は何事にも、第かねことを

部館の御領地、避賊陸艦砲の小松一から

- はい、主佐の上人標には、

野、まだ誰ぞの上に凶事でもある 何か。はて心がかりなっ に、そ、節くの間、鹿自に指をつ、驚へ告げるに耐へない電がして来と、胸がつまってしまったやう。 もうこれ以上の悲しい事を、拠

真實特許

繋はごと謎をゆるかせて、 庭野のことばが新つたので、別

お振気でもあるかり

戴に来を表つて郷が立いてしまっ

そこまで云ふと、真野はわつと、

本語 钱 笹 屋大阪市西區京町

ラー・はい、その可能操は れませらなり 老公にも、さだめしお他かで居ら

ましたが、見輪標の循道去やら、

何かの愛さが、積もられて、この

冬、ふとお風邪をひいたが因とな

益用博士之一與氣の際 店。我 科 長 庄

後の空を態ひ張うておるでなされ かしと、ひたすら和子様のお寄ち

起業はは暗り競くほかりです

眉になった。

一それを何つて、まづ安堵した。一

をたのしみながら、交衝夕に、越

して、次には、お野君の月輪

その安心が聞いるに現れて明るい

麒麟はほつと深い預言をした。

は、お父君にもまさる名僧になれから名も範疇といたなき、行く末

様を離り育てて、青蓮院の叔文書

『お師さまの御街湾の设は、相子 『殿方の玉日様が……」

裏野の客へを聞くと、

見發生先門幸田森 士博學醫 家究研法漢 用採院醫病大

版を明き各法案に對す

民保護法案は殆ど絶望観せ、決定を見るに至らず郷動員

会政権法案は政友會の気

何とか 特別議會最後の日

衆議院は問題の退職積立金法案上程

無産派必死の猛追究

櫻井兵五郎氏 (鼠 接が職として被目を状め大々 台灣折桶株式會此往來(政府

富田議長、貴族院の修正 東武氏 (致友) 院議を辞 単し貴族院絶附案に反對する 脱より舞りに拍手と製版を送れば と切べたる事情を思へて適用範疇

近し施院出第五十五様に依り開

につき詳細なる報告あつて第二個 (政人)上り委員會の問題脈に結果 動物質さな明さ幅介委団長

新大内信勢施に法案の減事が

退職積立金及退職 片山哲氏

紫原山川深即ち

し次いで尨大なる昭和十一年度総

つき諸股の報言後四二十分開育、 以下貧融端別線、総歴には利服委員権関係をかよっておもので開田首相 分振鈴、昭和十一年度の尨大な

| 「慶成外関軍の直攬となるべき」 結果につき武上一ばいに続ひっげ」 | 慶成外関軍の直攬となるべき | 結果につき武上一ばいに続ひっげ | 皮約ななすを襲する件 | た菱原長電販売とき造工下 | 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 | |

嚴重に取締る

新 坂谷芳郎男 (ME)

らに超大な容量と記を記上してなり

年時におけるアメリカ海軍の最高

建議策を可決し昭和八年以来學。水準をなすものである

更に患者續出

大邱師範のチフス

ワクテンを費用させてるたので「餐を貯する事となり出三日鑑賞器」ある男を網絡の違か総に調べると師範の チ フ ス は今からこの職既は概を取締り真し故任題の女三者を逃れて投谕して

||1三日||似京城顕路||丁日泉浜前に

京城本町 甲 野

質屋で捕はる

を連れた男 妓生風の女

盗む托鉢坊主

宛 枚二月毎りよ日十二月五 了完て以を間月ヶ六迄日十二月十

| 歳出鬼卵遺加案(韓第一號) | 結果につき応比しまいに強い方す| 本める販政りとなつたが、右撃第一、昭和十一年度各韓別尊計蔵人 (公正)とり東弥認的の語過能に | ***』「同時末申別ニオー、大ま名

、昭和十一年度各特別資計蔵人 (公正)とり度原総四の經過能に追加案(第一號) 「新聞のため副委託長于秋季除男追加案(第一號)」「年間」「年間」「年間」「年間」「年間」「年間」「年間」「年間」「年間」「

右七個を一括上程し即編奏館長梅

説の結果、途に部解成立、來過見

九三七年度の海軍補光 魔祭審

だらうと思ひます。作しこの遊し寝止めるのます。作しこの遊し寝止めるいと聞いている間いて

平時における最高

和母本郷祖は

颯爽!玄海の女王

もに龍岡に若くが天候如何によつ 部大阪で途中省壁の上その日のう

潮內相 本法の成立を侵し

米國海軍補充豫算

网院妥協成る

とて既田首相、馬堪隆相に到し命

24 U 1900

坂谷芳郎男

必要なる行政使権の限革、液量無格に隣し政府の監督國軍の遂行に とになったとになった。

る大野常局の触線跳進、闘工省の「耐なくこれを実施、直もに誘長指標増産部拠及びこれが質行に膨す」目前共立しまてまな、直もに誘長指 冒報告せしめこれを議場に置り異

全般天氣豫報 25

所の答解を促したが議長は答解を 方策等につき長々と質し降い、

ノ集



K K

*6 [明日] 祭り 北方 [今晩] 晒れたり

【个图】明礼

いる下い連4で店前前するりあべ台間の此 K~: トニコレニケクド

京城附述祭町二丁目(法主曾領跡)

一年五月廿五日

移 轉 開 業

が調査に同盟

イスケーは今凍機

がの謎

ハハハ 岩谷冷賴株式會社

ボンタンアメ ボケット菓子 ケット菓子







選物變為咽端 液虫殺出抽贿虫除 用庭家 殺せ蝿。 でりと蚊 汚臭所な 番一めき - 島代 州紀 配曾式标菊虫除正大

一月に就航 陸周上の海軍で既に原来回西部牛

に消散隊隊に務めてゐるが

職」を責行するとになった、適相 々九州主心所行後 『蘇二大間左の

間校襲貨の案内で見ば、正生間技

第十一時江田県 ロ科科日本の守護

薫風に勇む

本河町三二版 軽災 デで十八日 婦人用式当二十 豊節を入買せん

館と銀真照を贈した

能元と洪水を強いた臨時別型の今一十九分京城通過原州に向上豫定、

一方器開立有國際主然軍講學祭團

シーズン最後の列車で

7ELD341

念五百圓以上 各重

京城本町一丁目

一般軍なので上陸出来す、引撃した一名は罷死し、他所七名はそのまと

たが、安東縣面側側を職の監験が「機動が難殺したので、李春娘外八」割に命じ九名の死題を想査中で

密輸せんど 船に積み数 ところ、面洲側の伝染船が変現、一き走した

九名溺死、三十七名は逃亡

整型

赤衛軍タ

ク隊行進

風ト景の

四は全が美を搾つたので実が離れ「四暦ごろ総命した

家出した嫁の

質家を恨んで

下腹部を斬付られ妻は絶命

頭より所深に向つたが、四枚は、時者陸し、その他未次曾長操縦の

- 折断の思天候を衝いて各格 | 缺乏の爲午後十一時华田子龍に不

- 雅小野主の演奏に備えられ 二二一號、住廊営長登録の[二] 「釈放された

ヶ郎、所怨間のコースを選んで二「軍辛うじて所郷に歸者した外中尾」「新潔に話」所怨飛行訓練は各落「て安田黙長操縫の一機が午後十時

れ新航祭儀四機に同複雑節運か 長時間の鰹節を置けた上ガソリン・ 一日午後上時四十五分から實施 大樹換練、矢内が佐同衆の一機は

地方ナチス黨員 ス公暗殺未遂 警官隊と猛烈な衝突

製育別スターレンベルダ公郎 ばナチス般の目的は 市取に武器

突を惹起し結局オチス駅中「である」、抗病事則に批評を知つて、繁芝家との間に猛」レンベルグ公の職級を闘つたものであつた繁芝家との間に猛」レンベルグ公の職級を闘つたものである。 は事性質時ウインにあり無事だつ 林鈿得、徐五郎、林東雨など十敷されてゐた僧淳、郷玉海、金長漢、

家で先年我が関にも來願したこと 【スルベルガ(スエーデン)甘三

心能太の太刀を與へるで

伯 Œ 山美 書 演

百萬兩の壺

通藝等 贝

ルズ嘘重傷

沖大 邱署長の前途ある若者達に

書事件の犯人として大郎者に破壊 の片限に新しい土を扱つた所がある。 【大邱風話】まる二月以來所割留 | 万搜案中手機府平川里薩軍解兵器

と幼児の包食を置を選択、直ちに

は、大兵であつたから育丈は五尺

要臭女("デ)の仕業と物明連捕した

共に、武術や馬術の穂古に響んで

やうおやが、如何したか?何後、

の一トロを疑へる、交兵衛は、上 と、小姓に持たせてあつた来家 吉川龍部太の太刀を駆へるさ……』 ドル

影響の

の開解小原萬

強連ジュードフイルム就決免的製 上海医定太郎 静田二三夫 - 世門産男 | 家院医定太郎 静田二三夫 - 世門産男 | 家院 の南極ロアロア
近科学派学後提

白き處女地 五、〇〇 八、一五 五、〇〇 九、四〇

江戸節めをと姿

大學よいとこ

二回午郎十時半、午後一時年一日封切

夜日十三

フランス一流會社の 色素と香料を使つた

かうとするのを金兵商は、続き押いひ消でし共の艦、飛出して行 故事能いてまるつではならんと

『それはいけません。 勝手に出て

「六之帰始め、一同能く承るがよ

、マスター香料 (東都美容界の新 お化粧の實演 叩の出來るまで (映 畫)

かぶ) 高田澄子 嬢 至) 板倉利子女史 一勝利 粽) 吳 葉 舟女史 (1) 水城冴子女史 女 (映畫) (映畫)

MASTER

(少島出身の新進美容 (小口みち女史の砂敷物) 黒衣の

FACE

POWDER

が下さい。

美の開拓者としてマ 層美しくなれる最新 上派に興業價値のある豪華プロ 性學的化粧法を公開致します。 大奉仕、すぐ役立つて必ず一 ター香粧品本舗が鮮満の御愛

入 場 規定

定は招待券に書いて御

一條間をかけつけた新町派出町

「どうちや、交兵術、今日は明神

杉山昌二九森郡子久松美津校サウンド版 闇討仁義

星染館

座ねます)

ます。(詳しい人場規 マスター香粧品三十五

待券一枚を呈上致し 銭以上お買上げ毎に招 **薬店または化粧品店で**

來: る

護二君不明の折も折

代特別出資

700

1000

市场影響

思はぬ捫着を起す

論の中心とよつてある境頭作業弱

電は城連沖合から清準神合自六十 | 清城県市長町河口に北極の部下五連附近まで、ある | 大名があらは北福州人常築劉維育連の大田・大名があらば北福州人常築劉維育・ | 大名があらば北福州人常築劉維育・ | 大名があらば北福州人常楽劉維育・ | 大名があらば北海・ | 大名があらば北海・ | 大名がある。

清城對岸襲擊

晋州署の必死の大捜査で

概まされてゐたが去る十九日女治・療能域を 墓し 宮ա鷸船の後 甘土 原来万天(**) 3 昨年不過無職後に の無茶病法をやつたくめ温地女中 日本日 脱瀬市東部浦面坂中里魚 網の目腔で自名温実内で水鉄道器

氣の毒な春田博士夫妻の悲嘆 の捜査空ー

り各部長を決定したり各部長を決定した

この手紙に添へて五百圓也の言音」なった

外人匿名で献金

奇特な外人判る

新幕の火事

殿林樫相(1)方から出火、

火元で蟯死

其他國境の重大懸案につき

が、関語教は大火傷を育び直ちに 【音奏用】井上郷高局長は中村鑑 行粤、造事出郷族、遺跡を聴窓腔一方服等して枕等のランプを飲削し 列車で来新した、常本中郷郷官分 歳の記者に建る、総図は即安教 十二日午前七時十五分素養保護者 出郷したが、鑑賞療館で恋食養徒・勝り、財活教は大火傷を育び直ちに 【音奏用】井上郷高局長は中村鑑 行粤、造事出郷族、遺跡を聴窓腔一方服等して枕等のランプを飲削し 列車で来新した、常本中郷郷官分 歳の記者に建る 井上さんの明快談

本品は―

世界の名花三十八種から

成立つて居ります

各花精が活々と調和して

本當に皆樣の心持を愉快に

致します

百圓也を添

流線型

勝高

至 優

便美

(定價 廿銭)

御携帯によつて 香り容器

Ø

それはオリデナル

常にノとき香水をノ

くっく くっく くっくっくっく くっくくっく くっく くっくしょう しょうしょ しゅう 大手 医乳を 解打し 数目 間勝刻 報告されたいして くっく くっく くっく くっくく くっく くっく くっく しょうしん 戦し 悪災の素的に真文を明して舒旋中、時期を続けし数目 間勝刻 報告されたい

只今—

早く御申込み下さい和優待として御愛用新聞れにならぬ内御を記す、このではます。

) \$\frac{1}{2} \\ \frac{1}{2} \\ \fr **英三兒坦豐里里天老**壹三元老宝三二九七五五

御買求めの翻**オリデナル**小瓶 御買求めの翻**オリデナル**小瓶 空筒 壹個と 參錢 切手 壹枚 封入 の上 網送りに なれば 御送りに なれば 面ちに右 容器 を無代進星 します

進

呈方

のこと 不足朱煕は受付ません 御都蔵は必ず第一種鄭健として三錢切手貼付

器の 省水の一滴と の魅力は

ートな形に

m 會採計式 東京市日本橋區水天宮前安 藤井 筒堂



閉鮮事業公債法改正→成立

の金融を調ぜざるべからずと記(結果を最告訴論提供の結果委成になられ)と同じて更に臨民幣、政策(火曜)より委成館の評過額

貴族院本會議(編編

金岡又左衛門氏

(同和) 本案は慶田内閣において本語會に提出された唯一の証 ・ 本語のに移出された唯一の証 ・ を望むものである

積立金案可决

vぬ、民南頭の修正案文符の選

田尻生五氏 | 政友

し政民願意の案が通らぬ」が続けられたが開客では内部職際「州戦便局報館手順旅客でごごが一」仏の蒙地にそのまゝ隠してるたべ、我々は社大の修正案。事実につき曹州窓の手で観察内査」にいたり、開客で取職べてゐた曹 り封鉛のまゝ曹州島軍聡邦撃殺戮。つと嗣まる

去る廿一日朝豊州、山海 「青の行金と見てその方面に繋ぎの | 切の犯行を自由した明照は廿一日

行襲は封鉛の儘裏山に隠す

晋州局員前原秀二

初夏の金剛山にも杖を曳き

「関東、大手の選出、中上2人職ら したの、他」のお土産も、海山、 いて恋を練るところあつた、再城 ルメット解変の概要で平度正母 ルメット解変の概要で平度正母 いて恋を練るところあつた、再城 ルメット解変の概要で平度正母 いて恋を練るところあつた、再城 いて恋を夢るところあつた、再城

観察を行ひ半島の中央部と儲へら

はじめ新世の寛水県が高長一角こ下は、佐原が見とせてのだ。分類の田崎は下郎、田中祭一砂の希岸線を印窓に纏めながら

延長さる一部

応内君十種に二等

◆ | 回職 (審判次章、佐枝)
◆ | 回職 (審判改章、佐枝)
◆ | 回職 (審判閱輸、田)

効果第一の一

森田商の

みやげ第一

京城本町五丁目 京城本町五丁目 茶浦元 園 茶浦 (00 さ)

ぜんそく薬

株式名 義 供

とお試し下さいノビお試し下さいノ

果亞煙草醬會社

は、 ないでは、 ないで

京都 野田 島田 島田 田田 病科 電話 本2736

※ 京日案内

四日午前十一時から京城前城大像科製法県専門領球職

對法事籠球

城大豫科勝つ

金 施 澤 (雅悠) 李 榮 模 (京殿)

海軍當局談公表

加藤鐐五郎氏

本 銀 (よりたほし) 男女川 田 3 選 (よりたほし) 男女川 田 3 選 (よりたほし) 編 別 田 3 選 (よりなど) 通 別 田 3 選 (よりなど) 画 3 選 (よりなど) 通 別 田 3 選 (よりなど) 通 別 田 3 選 (よりなど) 通 別 田 3 選 (よりなど) 画 3 選 (よりなど) 通 別 田 3 選 (よりなど) 通 別 田 3 選 (よりなど) 通 別 田 3 選 (よりなど) 画 3 選 (よりなど) 画 別 田 3 選 (よりなど) 画 3 選 (よりなど) 画 3 選 (よりなど) 画 別 田 3 選 (よりなど) 画 3 選 (まりなど) (まりなど)

|| 算成立は 慶賀に堪つぬ

と連絡せんとする所を憲兵隊に

探索中だつた賣國奴

母! 电

刺 脚 離 松 書 母 有 格賽幣 別人界 符六四 ド田さ 9

思

宋 貸 案 與州二三國位階 上二雲階下三遊位部方天始國9 和本一〇〇七番

十 日本化學新聞音關雜板優所 各方面必需細胞於照出名。鄉雙古 各方面必需細胞於照出名。鄉雙古 於 用代學紙一般學生才 人

| 京城長公川町位本九一一高町画生。 京城長公川町位本九一一高町画生。 でンチ軍を市内領景次第記建す では、日本のでははは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは

小川 大日本 準辯會講談社商事部全國有名類店にあり―― 女事 「孫はに間後の人」 (本面に下海の人) (本面に下海のん) (本面に下海の人) (本面に下海のん) (本

0、1・110、11・至0、四・人0、七・00

なったけは情報して強けるものです。なったは情報して強けれ、酸離されて田ります。酸が減して、東京は最近で光散の方にも一般がいる。して、大変だけは情報して強けるものです。

新館落版公り門螺へ徒歩三分の関叔境

元間度率キホンウラグ















かな熱眼の結果、悪場脚田、金石人つたが、査選手の盛りよく鮮

(林承原

內北野沼本竹座石

これからの暴し方 新作落語集 新作落語集

金属 石 瓜田

球岸不一▲暴投森內▲併稅醫等 情木二、宍戶▲二副打貴木▲選

人を說く疑扶百ケ編 整太間の麗世術 の震世術

邱爾

繊道は最終回言

削九時から原城運動揺コートで聞 朝鮮専門學校庭珠大僧は廿四日午

專門學校庭球大會

(解)

題野祭202121711

0000000

●第四輯 ・生活に因らぬ法 ・生活に因らぬ法 ・生活に因らぬ法

兩試合トータル

時州四分から京城城堡で耐勢先攻、決勝湖場勢の場所は廿四日午後下

31-0

高商大勝

對高農戰

學校野球戰

品 農

(端) 玉木、佐田 (壁) 三田 | 引き続き 郷沢庙 高商貿高 農職は

Ħ

自ら敗因を招いた府廳勢

リ手不足

御鸛、大鷐、石井(帰)四段記憶加山総昌で鮮線先攻、佐藤(駅)二回縦け廿四日午後一時五分から 京城賀菜野球リーグ府翻場幹頭第 |◆

孝宮さな御潮干



子五分京古元收捌(峭)小牛、

有言用(髪)四氏被骸で開着

野実界氏宛申込まれたいと

係▲三個打趣开▲座球内間。時間十五分▲:優打

館道場に転日午後一時から九時ま

で弓道向好の士による職君所が開

受職者収許は資金町:職

写道紀士佐々木護華氏の入城を機

牙電の積極戦法に逓信潰

新学・中川人・ 博士・ 党武 二 さ、福の竪師子県投して秋山生 さ、福の竪師子県投 へ 返売 から で、更に対しる (東京) には (東京) に対して (東京) に対しで (東京) に対して (東京)

布容な「食世気庫」 洩れなく選呈左の七種の内部好の分

職上たが結局員省の健康的な職上にが結局員省の健康的主な。大量の守備職員により、大量の守備職員により、大量の守備職員により、大量のであり、大量のであり、大量のであり、大量のであり、大量のであり、大量のであり、大量のであり、大量のであり、大量の事のが表現している。

(害戦五後か上五分が後援なく主劉二三)が後援なく主劉二三三 が後援なく主劉二三三

専門野球けふ決勝 ■ 新一覧 ■ 新一覧

歴を守り過すか、州軍忠死の戦闘 れるが、諸原管縁なるか?高層上

一門家が必要派込んだといいいわる るに決定工事監督の属イタリ ア政府は國内各所に要罪を組事す 製者の来っ迄の手閣を 人生を裏から現けば 人生を裏から現けば ●第二輯

世度リ並能法面ヶ條 女 の 日 記 商 店 經 營 問 答

平山、中川、中島▲発投高田、

編盟聯護愛童兒宗東

呈贈代無

一の子我





伊軍四國境に集結



加田益貴品

■第七輯

住所、氏名、生年月日は)の裏に赤ちやんのは)の裏に赤ちやんのない紙 東京市京福區京橋二ノ八 **歪お書き込みの上**

明治製菓株式會社

ハトローゲン係宛

で うです?

頭のぐあいは?

たる脳内毒素の吸著解毒作用とアルシリン錠は、脳疾患の原因 「成分」銀炭末と連化銀 硅酸を主効分とせる糖衣錠なり 急不膓 ・慢性腸カタル良食餌中毒

子に吸著し、これを休内に排除炎性物質を、その極微細なる分 カタル・下痢を生起せしむる催 用ひらる。 い、設備作用を は、設備作用を は、設備作用を がある。



26--385(O)

せしむる作用を有す。

10年人(三线) 10年人(三线) 10年人(三线) 10年人(三线) 10年人(三线) 店商衛兵長田鐵 聖命 元 寶 發 即 任道 图 東市 医 大 衛 兵 新 西 小 紫縣 店理代東陽 町 木 區 個 本 目 市 京 東 はキクネー 製法特 許

(りあに店要園全)

元賣發造製 [寺圓高區並杉市京東 所究研藥製大六

安全療法

日本浦日

第11日 二川三日 第41一間町 一間点 取納会選

日 清华三日 北山高日 签山 - 柳多一周町 -

掮

四大阪商船熊出州

| 国際運輸支出

北鮮東京行

ら、強いて後の話聲を開かれやう ものだと、干夜子は、内心呆れ行

総分、失権な聴手上交つてゐる

ないんだし。ね、いとだろうん 中部りなんだから写彙ねなんて、選号や、御一緒にどうだい?。建

ん、どうする、佐田さん?」

干夜子は、まだ女皇生だつた頃

建ひではない。

確に(佐田さん)

干夜子は、ハッと驚いた。聞き

◇持時間各十時間 ◇所製時間

「指題」

戰 双

巃

7

法・當を得た、

飛車が七八に居る味を利した如何 といふ感じのする手であるが敵の といふ感じのする手であるが敵の と云つてゐる、塚田六表の五五

に、その戦曲は一度最ん

は、男が若し自分の天だつたら、

角を握つて、身振よろしく、無明 の男女が残りに、七ッちゃん!

と、プログラムにあるから、後

「連れつて、此の人かい?」

「あく」お節ちやんと呼ばれた女

馬子

中村七郎

同じ男の撃

金玉金銀金

4

桂 步步步步 銀王 桂

2 39 12 分分分

#

步 六七八八

桂香

五四.

44

と登集を明整してゐる男のことに と残ってゐるのは、今テーブルの 「例、ば、あんたが戦師だつて云

耳にガーンと響いて来た。 しい、男の大きな繋が、千夜子の

△七段

田泉

夫吉

と、後の女に話しかけてみるら

二流争弱血

ぞうなものさる。電板よ

のるヒソノへ語を少し、 予女の、先刻から小正なく取けて

干夜子は、自分の直ぐ後にゐる

本紙 一萬號記念懸賞小說二等當選

型奏 (10人時(東)ラデオコン

声龜

関力に関する。 関力に対する。 は、気を進動、至日の変数に、 で、気を進動、至日の変数に、 で、気を進動、至日の変数に、 が、気を進動、至日の変数に、 が、ののニュース・反域)

婦人講座

二午時後

世界女流藝術家物語 (四)

ンドサト、ダンカンローランサン、ミスタ

方へのニュース(朝鮮語・笹山 同一〇時・ニュース、氣象遊歌、地

同六時 五分

関二時西店諸座

時、西店護座、サンダイス同時、西店護座、サンダイス同

有名な洋震系

華田 嗣治

放

送

春吉

交通四主

護漢 結核薬防デ

は、正天に違ひない。

阿萬南善蒂 繁成

同八時(釜)二曲

西行學

や、世界のレヴューの復都シスト

流盪家の生ひ立ちから出世空の話 ローランサンを主とし、シュザン 私は世界一流の女美術家マリー

盛の上の話等更にダンスでのイザ

京城帝國大學教授 岩井諸四郎

同八時二〇分

吳徐 旅崔 荧 億審

同七時三〇分

ース(須魚・戦・等

間が時(夏)ラデオスケフチ 汽

同一時(東)縮人議座「世界女演」同零時四〇分・ニュース

ン、ミスタンゲット、鸛原妄物語(四) ロ

か女に扮裝もやつで、何處かの舞 『然し道楽なら、朗麗なんで咨番

小阪がお留守になるわよっ 本職なんて、あるのかい?何時

ころが、そんなことしてもや、

し切も今に降むからさるえ?」

でもんせい、あれが返案なんだも 男」たら、ほんの一と次の騒音で命を るたっ 『お節ちやん、下へ降りて、交際 が、おねしにもよう戦つたであら 太郎どの・愛染出土の色香のほど 手強い法師ぢやと思ふてゐ

本自身の得ち職は面白いと思ってが、それとは別に、千夜子は、囲の顕巖の仕方には、不確があつた i. 電風の傾かさへも、一時に、 「おや、そ、玉つといてよ」 くり地球鏡跡を見るやうな恐ろし さに變つて行つた。 希盤の此の大唐間も、原間を埋 めてゐる大勢の際紫も、美しい花 ある。連中盛んにやつてんだか 干夜子は、もう脚本どころでは

は同六時二〇分(東)カレントトビーの一方時二〇分(東)カレントトビールの一方時二〇分(東)カレントトビールの一方時二〇分(東)カレントトビールの一方時二〇分(東)カレントトビールの一方時二〇分(東)カレントトビールの一方に対している。

廾六日き、物

同八時三五分(大)ピアノ定期復一川将「隋城」 同八時二〇分 - 詩吟(卷山) まり子、百太郎

たお話もいたします ドラ・ドンカン等から直接に聞い

同九時五分 (大)

外

想することも多いと思ひます

古談 庚 秋

てゐるのが、唯一の心頼みだつた 信ら、舟融か一つ出來なかつた。かれはしないかと云ふ不安に住え が、岩しや、後姿で、それと同付 犬の知らない地味なコートを習

半時七後

實施に就い

衛生課長 西朝非常宣传

龜

一及ほしつゝあるかを築するに蘇り

あるのであります

著しき配筒的規能たる都市の

結核像防デ

ひ精神低脈に婉質的に遊多の習過、だ恋と本情度防脈説の見るべきも遊鵝してその健康を浸し生命を帰しく……然る。 に朝鮮に於ては示 事を意応しつゝあるの事例は治人のがないばかりでなく特に近時の 演講 ・演賞を分たす語く側氏の間に 結核の扇形が影の彫

廿五日番組

月曜日

の六) 佐竹 直重 向六時三〇分(東) 英語講座(二 向六時(東)ラデオ競操 同七時一分(東)朝の修養 第十山巌須走森林中より中職年前五時四〇分(和)小島の柳 一放 送

同九時一五分 - 氣象通報・料理献||同九時一〇分 - 氣象通報(卷山)||同九時(東)家庭メモ 石果 観道 ば本病の蔓延が如何に國民の語動物年、肚生器たるの事質より観れ 数は戦闘上萬人、一ヶ年の死亡者 内地の割合を以てすれば現在思書 の程度は木だ充分明かではこ 組まえ等の大半が社館の中里たる 故は四年人に上る見込であります

當り思諸數は百數十萬人の多きに のであります、即ち内地に於ける一種比等は一面に於ては體管の低下 に於ける本摘愛延一 一般頭を緊からしめ馬に益々本層製 教育の書及其の他、生活場式の複 交通機構の観達、産業の別界、 延の因を増加せしむる成があるの を楽し他面においては病態関播の るの話だ急務なるを指題する次第

曲組織民

な ₩.

ありますから先頃設立されました 其の質励をおさむることは距離で 心部の目 靴とに 頼るに 非されば と密接の観察ある事項は一般……本病 なぶの如く園屋生

> 唱 唱

内 田 元

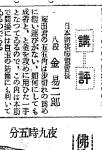
はのも無理からぬ事だ。 「はころ中盤観に於て既に供参の。」 「はころ中盤観に於て既に供参の。」 であつたらしい希律を見ては面喰。 であつたらしい希律を見ては面喰。 性を描く意味に七二 霊電さへ、ひとりは堪へぬ夕ぐれ き草に腰で、わが懸そめし君なら 君を思へほうら悲し、野ゆきだゆ

(6)

してもこれ以外に 古考へ浮ぶ けさよ、誤さしてみかへり來ぬ 君を思へばうら悲し、春をむなし に、なまじ菜種の花明り

わかれし人を歌かへば、今階の月

そへて、



標となる恨れがある 面とで課 慢を願へす筧の水音、違く谷に街 我を聞いて略えて来る佛法信、若 夜に亘つて放送された佛法僧の鬼 する動行の雌、昨年六月七、八兩

見の水音、遠く谷に音「概法僧燮蔵に一大壁観を示災略えて來る帳法僧、若「ら分乗上に耐鬱な職職の花が順風來寺山深夜の嶽」島襲撃飛には、このことのつ 僧」が、一部質験者の云うが このはつくしか、 果… して撃脚上のこ

このことあつてか

分五時九夜 佛法僧鳴聲實况 三河風來寺山山腹より中繼 名古屋から もしぐれきぬ、濡れてといきした

のチャンスを興べ、 原修明版を全 能変にのせ、世の科学者に再版的 常附近の三本杉のあたり、既は要相意してある。既に鳳來寺山では用意してある。既に鳳來寺山では 用意してゐる。既に鳳來寺山ではら時報に至る粉二十五分間づゝを 山地駅谷方面にて盛んに鳴きつい 時に當りCKで再び特別マイク 一問ひかける事になった 夜は午後九時五分か

た 一般で構成を確らさず、炭々たる紙が変は鍛党と観賞とに使するため けてある田である に店品柱化物間小局薬・店貸百 直は第の団品がすまめてし変形

さ下文社御へ赴本配左接 し数引送御でにちも方営

に方人節御設一 色肌 に方おの髪剤 色変 1.00



申御入封枚三手切鏡二 **致附没御瓶用試第次込** (入記名関新乞)すまし

を行ひ、一般世人の本病な院忠振。野デーとし金鮮一湾に東端正隈運動・トカカトの本三月間を結核破跡・ 實現を促進し進かに本個原防養政 を期せんとする次第であります 解と正しき認識を促し以て施設の一 を喚起し本病な防に對する深き理|衛が鳴る鳴る夕べの形に、點くよ 校願體其他の参加援助により明二 防協調が中心となり各官公割、 何辛 影響におかれまし きよ風、沿はやよ風そよと楽た 君はそ上風君はそ上風そ上と來い上、けふは告げよう、このおもひ 鎌が鳴る鳴る月夜の斤に、いとし 継しはこの胸に、逢ひに行かうよ こよび告げたよこのおもひ、君は 灯りがこの胸に、塗うで泣いたよ 館が鳴る (人 夜明けの丘に、 あすは明れようこのおもひ、君は し悪しはこの胸に、逢ひにゆから 二、君はそよ風 秋の思ひは深きぞそ

み至の耐さけるぞ知る 花壺板、られしきかなや春を得て 三、明みき時 君はそよ風そよとくる

七、落

大阪成选合唱图 村 光 楽 夫 ※夫母を養さ、あぶるの族はまで知る て、沈默の幸をけるぞ知る りやま以目の雫、うれしきかなや 糖はきゝとりね、大空の下君とる 言はわど様は誰らひぬ、きかわど さすいひや他国の秋や、あはれけ 一番集ちりゆく、落葉もりゆく

かれもしたではないに、雕れするへ行くやらはるばると、剤きも飽 見やれあの山あの霊行きを、どこ 付 さすらひやわが位く秋や、あはわ

野

麥

思ひ期れて峠を行けば、いつの日、天の確でゆるゆふべよ、いづかた れの顧雨、なきけないぞや柿の鰯山はしぐれる麓は暴る、つらい腑 に、後姿がはや見えれ 山越えて、難るまいぞやったり仲 にやら強へるやら、遠く際でて海 ぎて、

なぜにはやも君を隠すや、この窓 現にはぬぐりあへねば、狭露のか 久方の天にありても、かくばかり つ旅ごろも、こほろぎの泣く音を を若は渡るや、秋風にすゝきそ

なぜにはやも、なぜにはやも

花井蘭子さんの 使ひましたがこれなららり白粉をこれまでい

來る最高級の なり化粧が出する程美しい量でビックリ 粉の13の分普通の固煉白 來る最高級 絶對に白粉下 いり日粉

専の方よ、通びに行きたや顔見た てつれない西の風・おまへ住む島 朝はほのぼの海から明けて、明け そ夜な夜なを、君住む方にたち 彼の百里もしぶるに濡れて、逢ひ わしも底空おまへも他頭、一つお も越るるともに膨路で泣きくれる 通ふおもひは潮路 へ、渡り島さへ

IJiн

越

一分 二分 五分…

みました………

部

五月二十五日、二 点域府 部屋

一個人間に関する 用を併せ持つてるった。頭腦の疲劳を指を治すだけでなる。頭腦の疲劳を動物の作をがある。 頭がいたむので… スグにノーシンを ノーシンの てしまいました! 忌れたやうに治つ

事です



Mar 元度四 计算5个那次共同键